

研究協力をお願い

昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

認知機能障害における脳血流 SPECT および MRI 構造解析、CSF バイオマーカー、臨床指標の多次元的関連：BAAD を用いた新たな病態理解と進行予測モデルの構築

1．研究の対象および研究対象期間

2016 年 7 月 1 日から 2025 年 1 月 31 日に昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院で物忘れの訴えで来院された患者さん

2．研究目的・方法

本研究では、患者さんの認知機能障害に関する病態をより詳しく理解し、診断や治療の精度を高めることを目的としています。具体的には、患者さんがこれまでに受けられた診療や検査（脳画像検査、採血検査、認知機能検査など）の結果を用いて解析を行い、どのような要因が認知機能の低下や症状の進行に関わるかを調べます。

研究は、すでに実施された検査の結果やカルテ情報を確認する「後方視的（こうほうしてき）研究」という方法で行います。したがって、患者さんに新たな検査や処置をお願いすることはありません。この研究によって得られた知見は、将来の患者さんの診療や研究活動に役立てさせていただく予定です。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、以下のような試料・情報を利用します。

- ・診療録（カルテ）：受診された際の症状、既往症、処方された薬剤、治療経過などの記録
- ・検査結果：血液検査や脳画像検査（MRI や SPECT など）、神経心理学的検査（MMSE、MoCA-J など）の結果
- ・日常生活動作の評価：BADL、IADL といった、患者さんの日常生活での動作能力を示す評価項目
- ・脳脊髄液（CSF）検査：すでに実施されている場合のみ、Aβ やタウなどのバイオマーカーの値を使用

これらの情報は、研究を行ううえで必要な範囲に限り、個人が特定されないように匿名化して用います。

研究の結果は学会や論文などで公表されることがありますが、患者さん個人を特定できる情報が外部に漏れることはありませんのでご安心ください。

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者	研究機関名	昭和大学病院 放射線科	村上 幸三
研究分担者	研究機関名	昭和大学病院附属東病院 脳神経内科	村上 秀友
	研究機関名	昭和大学病院附属東病院 脳神経内科	黒田 岳志
	研究機関名	昭和大学病院 放射線科	扇谷 芳光
研究協力者	研究機関名	昭和大学医学部 学生	松本 泰輔

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学病院 放射線科 村上 幸三

住所： 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8240